

平成 25 年技術士口頭試験 復元

試験日：平成 25 年 12 月 7 日 14:20～14:40 (終了 14:37) 試験官 2 名

1. あなたの業務経歴について、2分程度で説明してください。  
→ 2分以内で説明。大まかにまとめて説明し、記載のない部分を補足した。
2. 数ある業務経歴の中から、今回詳細業務を選んだ理由を説明して下さい。  
→ この業務は事例の少ない珍しい業務であること  
→ 品質管理において考慮する点があったこと を述べる  
※ 質問の意図を「この業務が技術士にふさわしい理由」ととらえ、その点を説明すればよかったと反省。
3. 詳細業務について、ホワイトボードを用いて説明して下さい。  
→ ホワイトボードを使用しながら説明。約3分か？その後に質疑あり。
  - (ア) 山留工の補強工法は増厚以外には検討していないのですか。  
→ 設計時に取壊し再構築を検討。費用と工期、環境負荷の軽減、再発防止の観点から増厚を選択した。
  - (イ) 岩盤の位置を図示した断面に記入してください。  
→ 記入し説明
  - (ウ) グラウンドアンカーや鉄筋挿入による補強は検討しませんでしたか。  
→ 落石による荷重で、躯体背面に引っ張り応力が発生し強度が不足するが、それを防ぐための補強であり、安価な増厚補強で十分対応可能であることを説明。
  - (エ) 接着以外の一体化方法は検討していませんか。  
→ 設計段階で「差し筋」を検討しているが、コンクリートの許容せん断応力度から逆算したら1㎡あたり鉄筋D32が4本必要となり、壁厚不足により10Dの定着長が確保できない部分があるため不採用としていることを説明。
  - (オ) 増厚したことによる道路線形への影響はなかったのですか。  
→ 余幅があったため多少線形を見直している。これ以上の増厚は困難である。
  - (カ) 型枠の設置高さを抑えたことで、施工手間が増えたはずですが、その点に着いての積算への考慮は行いましたか。条件明示への記載はありましたか。  
→ 型枠の設置面積は変化していないので、積算上の考慮は行っていない。その点については事前に施工者と協議を行い、品質確保のために必要な作業のためやむを得ないと承諾を取っている。条件明示等への記載は行っていなかった。
  - (キ) 接着品質の経年変化を点検する方法はどのように考えていますか。  
→ 笹子トンネルの天板崩落も、接着剤の経年変化が要因の1つとされており、経年変化を追跡していく必要はあると考える。しかし、具体的な方法や点検頻度は未定のため、今後検討していきたい。
4. 技術士の3義務2責務をあげ、必要性について説明して下さい。  
→ 3義務 信用失墜行為の禁止、秘密保持、名称表示の場合の部門の明示  
○信用失墜行為は技術士や科学技術に対する信用を大きく損ねるものであり、行ってはならない。  
○秘密保持は、技術情報・業務上知り得た情報・個人情報の保護をおろそかにす

ると信用失墜につながるため、行ってはならない

※ 刑事罰（懲役1年以下、50万円以下の罰金）があることを説明していない。  
○名称表示の場合の部門の明示は、技術士には多くの部門があり、どの部門で専門性を有しているか明らかにしないと技術力の確保につながらないため。

→2責務 公益の確保、資質向上

○公益（公共の安全、環境の保全）の確保は何よりも優先させなければならない。  
技術士倫理綱領の第1項目にも記載されている。

○資質向上は、技術は日々進歩しており、研鑽を行わないと技術力が確保できず、公益を損ね、信用失墜につながりかねないため。

5. CPDについて説明し、あなたが実施しているものについて述べて下さい。

→技術士には自己研鑽の責務があり、継続研鑽を第三者にもわかるように時間単位で登録するシステムがCPDである。

残念ながらCPD対応のプログラムには参加できていないが、資格取得後は積極的に参加したい。CPD その他の事項に対応する専門誌の購読等での自己研鑽を行っている。

6. 何か所属している団体等がありますか。そこでのCPD登録はありますか。

→土木学会に所属している。CPD登録は行っていない。

7. あなたの職場での技術士の必要性について説明して下さい。

→私は市の職員であり、公務員であるので資格取得により給与・手当が増額することはなく、昇進することもない。

しかし、市の技術職員の技術力低下を感じており、公共工事の品質確保が危ぶまれている。私はこれを防ぐための技術リーダーとなりたく、技術士の資格は必要である。

また、公共工事の検査や設計審査を担当する部局があり、そこへ異動し技術力を活用することができる。

※検査・審査は5月からサポートメンバーとして加わっており、そのことを説明する必要があったと反省。